



## = 令和2年度事業 = コロナ禍の中での取り組みとなりました

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、事業の中止・縮小を余儀なくされた1年でした。  
「総会」は書面審議とし、「会員の集い」（例年1月開催）は開催を見合わせ、地域での「ミニ集会」「子育て支援活動」の取り組みは自粛しました。  
また、「西区民まつり」（例年子育て支援の紙芝居・折り紙、遊休品バザーなどを実施）をはじめとする他団体の行事への参加も中止となりました。
- そうした状況の中で、コロナ感染防止に意を用いた上で、「社会を明るくする運動」、その一環である「愛のたより」運動、「ウィズ広島給食交流会」などを、新たな工夫も取り入れながら実施しました。（詳しくは各事業の記事をご覧ください。）
- また、会員の中には、更生保護施設や児童館などへマスクを贈呈した方、地域の子どもたちへマスク着用の声掛けを行った方、保護者からの依頼で休校中の児童と一緒に勉強をした方などがおられました。
- コロナ感染拡大の終息を願いつつ、工夫をしながら更生保護の心を広める活動に取り組んでいきたいと思えます。



### 総会

4月に予定していた総会は開催を取り止め、審議事項は書面審議としました。

令和元年度活動報告・決算報告、令和2年度活動重点目標・活動計画・予算、役員改選の各審議事項については承認されました。 [令和2年度会員数 256人]

### 会員研修



令和3年3月12日(金)広島・西区更生保護サポートセンターにおいて、広島保護観察所多田野 清 保護観察官に講師をお願いして、会員27名が「更生保護女性会の組織と故・島津久子名誉会長」についてお話を伺いました。



- ・会の歴史を学ぶことは会の目的を知り、活動を考えることになる。設立目的は青少年の健全育成である。
- ・綱領は活動の神髄、真摯に思いを巡らせてかみしめながら読んでほしい。
- ・バッジの八重桜に込められた思い（3ページに関連記事）
- ・全国更生保護婦人連盟（現 日本更生保護女性連盟）の島津久子名誉会長の活動やお考えなど、興味深い内容をわかりやすく、楽しくお話いただきました。

会の目的、会員としての姿、活動について改めて考え確認をする、また活動への思いを強くする機会となりました。

なお、広島・西区更生保護サポートセンター更女事務室入り口の壁に島津久子名誉会長の色紙「いかに小さな光でも暗闇を照らすそんな光になりたいと思う」が掲示されています。



# 第70回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

## メッセージ伝達式



運動を推進するため、6月30日(火)西区役所において、広島保護観察所山田所長から西区推進委員長である福岡西区長への内閣総理大臣メッセージ伝達式が行われました。

今回はコロナ感染防止のため、計画していたアルパークでのセレモニーは中止となりました。



ホゴちゃんとサラちゃんのTシャツで出席しました。

## 広報・啓発活動

街頭での啓発活動など接触型の活動が中止となる中、己斐橋袂でのアドバルーン掲揚、地域での運動標語パネル「やり直し 支える



愛の手 見守る社会」の掲示を行いました。

また新たな取り組みとして、広島市広報紙「市民と市政」7月1日号西区版に運動について掲載しました。



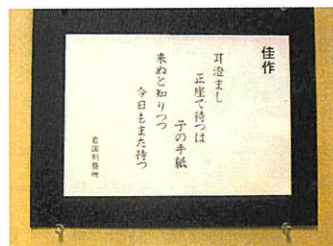
## 記念作品展

～つまずいても、再出発のできる社会の実現を目指して～

8月18日(火)から23日(日)までNHK広島放送局2階ギャラリーにおいて、刑務所や少年院などの矯正施設で立ち直ろうとしている人たちの絵画や作文、詩、俳句などの作品展が開催されました。



会場には「作文・標語コンテスト」の作品パネル、「ぬりえでホゴちゃん・サラちゃん」で募集した作品の画像も展示されました。



約400名の来場者があり、作者の深い反省と立ち直りたい強い気持ちが伝わる作品展でした。



## 「愛のたより」募金贈呈式

9月2日(水)広島保護観察所において、広島市8地区における募金を更生保護法人ウィズ広島、更生保護法人呉清明園など5



団体に贈呈しました。受贈者から「貴重な浄財を大切にに使わせていただきます。」と感謝の言葉をいただきました。

## 作文・標語コンテスト

今年度は大変な状況にあるにもかかわらず、作文1,577作品、標語338作品の応募があり、ご指導くださった先生方や支えてくださったご家族、地域の方々にお礼を申し上げます。

コロナ感染防止のため、広島・西区更生保護サポートセンターでの表彰式・発表会は残念ながら中止となりましたが、令和3年2月17日(水)広島市立庚午中学校において、福岡西区長をはじめ保護司会、更生保護女性会の出席により、同校生徒6名の表彰式が行われました。

入賞作品集としてまとめ、会員の皆様にお配りすることになっていますので、ぜひお読みいただければと思います。



## ウィズ広島給食交流会

10月15日(木)第5分会会員7名が更生保護施設「ウィズ広島」給食交流会に参加し、利用者さんに喜んで食べていただけるよう心を込めて調理しました。

今回はコロナ感染防止のため、利用者さんと食事を共にすることはできませんでしたが、何かメッセージを伝えたいと思い会員などの皆様からご協力をいただき、絵手紙を食卓に添えました。

後日職員の方から、利用者さんは絵手紙に驚喜ばれ、持ちかえられましたと深謝のお話をいただきました。



## 矯正施設への支援活動

### 広島少年院生徒さんから礼状が届きました

本会は広島少年院の成人式、卒業式などに出席しています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で行事への出席はありませんでしたが、成人式にあたっては、今回も成人を迎える生徒さんへ記念品としてアルバムをお贈りしました。

後日、新成人代表の生徒さんから、自分たちの更生を心から願ってくれている人がいることを実感し、たくさんの方が応援してくれていることを心に秘め生活していきますとのお礼状が届きました。



## コーラス部「それいゆ」

会員増強の思いで昭和60年に誕生した「それいゆ」。

現在は、木村美子先生のもと20余名の会員が楽しく活動しています。



コロナ禍で練習曲を発表する機会がない中で、保護司の方々をお

招きしてクリスマス会を開催し、貴重なひとときとなりました。

練習日 第1・3木曜日 午後1時30分～3時30分

場所 広島・西区更生保護サポートセンター

一緒に歌いませんか？ お待ちしています。



## 令和3年度「地域との連携・協働推進地区」に指定されました



日本更生保護女性連盟は、地域の関係機関・団体と協働することにより、更女活動の効果を上げ、地域の安全・安心につながることを目指す標記事業を実施しています。本会はその事業に「子育て支援活動でパネルを活用した更生保護の広報啓発事業」で応募し、推進地区に指定されました。準備を進めていきます。

## 更生保護女性会の記章 ～込められた思い～



記章の花は八重桜。世代の異なる会員が力を合わせて活動に取り組む姿です。

昭和37、38年頃、関東地方更生保護委員会事務局職員により作られました。

当初は花びらの中心の文字は「婦」でしたが、平成15年に会の名称が「日本更生保護婦人連盟」から「日本更生保護女性連盟」に変更されたことに伴い、中国「淳化閣帖」の王献之の書「更」に変更されました。

八重桜の花言葉は、しとやか、豊かな教養、善良な教育で、落ち着いて知的な雰囲気を表しています。

(広島県更生保護女性連盟「パラソル第25号」ほか参照)

# 被表彰者 =受賞おめでとうございます=

日本更生保護女性連盟会長表彰  
中国地方更生保護委員会委員長感謝状  
中国地方更生保護女性連盟会長表彰  
広島保護観察所長感謝状

本西 恭子  
矢野リサコ  
脇田 春香  
幾政 幸子  
赤名 栄子  
桐山 洋子  
田辺トメ子  
田上 友子  
丸山 朱實  
面出 千鳥  
光田登喜子  
津江本美智恵  
森田 信子  
高橋 克子  
太刀 恵子  
新田 正子



西地区更生保護功労者顕彰式  
(12月8日(火) 広島・西区更生保護サポートセンター)

## 会計報告

### 令和2年度収支決算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

#### 〔一般会計〕

(収入の部)

(単位 円)

項 目	令和2年度 決算額
会 費	512,000
会 費	512,000
研修参加費	0
研 修 参 加 費	0
助 成 金	6,000
助 成 金	6,000
事業収入	215,126
広 報 物 資	189,626
社 明 パ ネ ル	25,500
雑 収 入	36
資 産 収 入	36
雑 収 入	0
繰 入 金	88,000
繰 入 金	88,000
繰 越 金	320,780
前 年 度 繰 越 金	320,780
合 計	1,141,942

収 入 総 額	1,141,942円
支 出 総 額	624,872円
差 引 金 額	517,070円

(支出の部)

(単位 円)

項 目	令和2年度 決算額
事 務 費	117,477
会 議 費	19,510
事 務 諸 費	97,967
分 担 金	238,200
県 更 女	211,200
市 更 女	5,000
ウ ィ ズ 広 島	12,000
コミュニティ交流協議会	5,000
県就労支援事業者機構	5,000
事 業 費	152,195
研 修 費	9,695
行 事 費	22,500
社 明 活 動 費	32,000
機 関 誌 発 行 費	88,000
慶 弔 費	6,000
慶 弔 費	6,000
関 係 機 関 会 合 費	6,000
日更女の集い参加費	0
各種会合参加費	6,000
積 立 金	100,000
積 立 金	100,000
予 備 費	5,000
支 出 計	624,872
次 年 度 繰 越 金	517,070
合 計	1,141,942

#### 〔愛のたより〕

(収入の部)

(単位 円)

項 目	令和2年度決算額
愛 の た よ り	660,746
共 催 金	50,000
雑 収 入	1
合 計	710,747

(支出の部)

(単位 円)

項 目	令和2年度決算額
ウ ィ ズ 広 島	210,000
呉 清 明 園	20,000
広島県更生保護協会	10,000
広島県薬物乱用防止指導員 広島市地区協議会	10,000
広島市地区 BBS 会	10,000
社 明 広 報 活 動 費	255,600
犯 罪 予 防 活 動 費	53,508
事 務 雑 費	10,065
社 明 行 事 積 立 金	131,574
合 計	710,747

収 入 総 額	710,747円
支 出 総 額	710,747円
差 引 金 額	0円

(注) 令和3年度総会で承認された後、確定します。

## 役員

=会員の皆様、ご協力  
ありがとうございました=

顧問 幟建 末子 理事 山田真知子  
会長 田中 武子 金垣 麗華  
副会長 藤田 典子 田中 武子  
光田登喜子 山下 雅子  
菅井 篤子  
東 真由美 松尾千代子  
加藤 順子  
書記 平野 絢子 菊川 光子  
会計 久村由美子 豊島 祐子  
安光ふみ江  
監事 山木 路子 平口さとみ  
浅田 慶子 鍛冶山好恵

## あとがき

新型コロナウイルスの影響を受け、事業の中止などにより、会員の皆様にお会いする機会がなかなかない1年でした。

そうした中であっては、会員の皆様に活動の様子などを丁寧にお知らせしていくことがより大切だと思っています。

今回は社会を明るくする運動の「広報・啓発活動」や「広島少年院生徒さんからの礼状」、「更生保護女性会の記章」などについても掲載しました。

ぜひご一読ください。

※ ホームページ「WEST 21」で機関紙「鶴群」を見ることができます。

「WEST 21」は広島市西区コミュニティ交流協議会が設置しているもので、協議会の構成団体の情報などが掲載されています。

発行 西地区更生保護女性会 電話・FAX (082)277-4528